



令和8年5月
(2026)
第153号

ながい 市議会だより

若葉の季節
新しい一歩



長井小学校入学式



初登校の様子

もくじ

3月定例会の概要	2
一般質問	3
予算特別委員会総括質疑	8
人事・6月定例会日程	10

発行／長井市議会 編集／ながい市議会だより編集特別委員会 TEL (0238) 82-8021 (直通)

長井市議会ホームページ <https://www.city.nagai.yamagata.jp/gikai/>



令和8年度は、第六次総合計画前期計画の3年目。バイオガス発電設備整備関連事業や、生涯学習プラザ施設長寿命化事業などに取り組みます。一般会計の歳入は、市税を前年比6・9%増の33億2960万円、国庫支出金を6・6%増の27億5188万円、県支出金は1・4%減の11億9283万円、市債は2・0%減の6億1660万円計上し、ふるさと納税を含む寄附金は0・3%減の15億50万円、繰入金は10・9%増の17億7296万円と見込みました。歳出では、普通建設事業費で、前年度比0・2%増の10億3935万円、扶助費は1・8%減の30億1204万円、補助費は5・0%増の33億1637万円となっており、一般会計の合計額は歳入歳出ともに3・9%増の191億5300万円となります。

3月定例会

令和8年度 予算を可決

特徴的な事業 ※1万円未満切り捨て

建設事業

- ◆ **バイオガス発電設備整備事業 (1億81万円)**
バイオガス発電設備を導入し、生ごみ資源循環の継続と再生エネルギーの創出を図るもの
- ◆ **液肥貯留槽整備事業 (1億1,990万円)**
バイオガス発電設備整備に伴い、生ごみのメタン発酵後に生成される液肥を全量農地へ還元し循環させるため、液肥貯留槽を整備するもの
- ◆ **園芸施設ハウス整備事業 (1億2,987万円)**
バイオガス発電施設の電気及び液肥を活用し、通年園芸作物の生産を行うための園芸ハウスを建設するもの
- ◆ **最上川河川緑地整備事業 (1億円)**
観光交流センター(道の駅)隣接地に新たに公園を整備するもの
- ◆ **生涯学習プラザ施設長寿命化事業 (7,600万円)**
施設全体の長寿命化工事に向けた実施設計を行うもの

ソフト事業

- ◆ **地域資源ブランディング事業 (8,100万円)**
長井の食と文化の地域性を活かし地域の活性化を目指すもの
- ◆ **スタインウェイフルコンサートピアノ活用事業 (6,843万円)**
グラチア音楽賞受賞者コンサート、ラインベルガーコンサートに加え、オペラ「ゼッキンゲンのトランペット吹き」を上演するもの
- ◆ **マラソンのまち推進事業 (2,644万円)**
年齢や性別、国籍などに関係なく様々な人が取り組めるマラソン競技を実施するもの

令和8年3月定例会を2月27日から3月24日までの26日間の日程で開催しました。市長から施政方針の説明を受け、提案された報告3件、一般議案16件、予算議案14件について審議を行い、最終日に追加提案された予算議案3件、人事案件1件、議案2件の議案を含め、すべて原案どおり可決しました。なお、一般質問は11名の議員、予算総括質疑は5名の委員が質問に立ち、当局の考えをいただきました。

令和8年3月定例会 議案等に対する賛否一覧表 (下記以外については全会一致で可決されています)

議案等名	議席番号	議員氏名	議決結果																	
				賛成	反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
議案第1号 令和8年度長井市一般会計予算			原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※ 賛否が分かれたものについて掲載しています。
 ○は賛成、●は反対、-は退席。議長(内谷邦彦)は採決に加わらない。
 ★令和8年3月定例会に提出されたすべての議案等の議決結果は市議会のホームページに掲載しています。

一般質問

市政全般について、11名の議員が質問しました

※3月定例会は会派代表・政党代表・個人の順に質問



共創長井 浅野 敏明

駅前市街地再開発事業を進める上での課題は

地域や在宅で安心して生活できるよう取り組む

答 弁



する高規格道路の実現を目指すため、整備促進期成同盟会が設立されましたが、県の次期道路中期計画へ反映できる可能性はどうか。

A. 県は、令和7年度に市内渋滞対策として将来交通量推計を実施し、今後その結果を基に整備手法の検討を行うとしていることから、調査・検討段階から県に要望していきます。

Q. 近年の異常気象により自然災害が激甚化する中、豪雨災害への対応は、ハード・ソフト対策の組み合わせにより、被害を最小限に抑えることができます。事前防災への投資は、被害の防止だけでなく、地域経済の活性化や、安心して夢を追える地域づくりにもなることから、ソフトと並行して事前防災への投資を行うべきではないですか。

A. 河川等の浚渫工事や支障木の撤去、田んぼダムによる貯留機能の確保や移動式排水ポンプの活用等の治水対策と並行して、デジタルツイン技術等を活用した各地区の防災力強化を推進してまいります。



ハウス建設予定地（五十川地区）



駅前通り（駅前市街地再開発予定地）



清和長井 鈴木 悟司

バイオガス発電施設導入に伴う園芸施設の将来は

実践的な研修や雇用の支援の場として活用

答 弁



る経費は毎年必要になります。が、新規就農者の研修施設と考えるのか、福祉施設利用者の生きがい施設になるのか、将来的にどのような施設にしていく考えなのか伺います。

A. 新規就農者や地域おこし協力隊で就農を目指す皆さんの実践的な研修の場として、また、福祉施設と連携して雇用の支援や生きがいづくりとしての活用を考えています。

Q. 作物の栽培計画をしっかりと立てて運営していただきたいと思いますが、土耕で作るのか水耕で作るのかなど、ハウス内の設備も違うことから早急な判断が必要と考えます。作物の出荷先や、レインボープランとしてのブランディングはどうする考えなのか伺います。

A. 生産された農作物を学校給食で活用する食育の充実や、直売所等への出荷や各コミセンに液肥スタンドを設置し気軽に液肥を使用していただき、さらなる地産地消の推進を図ってまいります。

Q. カーボンニュートラル推進事業によるバイオガス発電施設導入に伴い、園芸施設ハウスを整備することですが、循環システムの効果を最大限に発揮するための取り組みを伺います。

A. 生ごみを堆肥化して農作物を生産するこれまでの循環を発展進化させ、エネルギーの循環を始めとして福祉施設利用者や新規就農者等の人材の循環、先端技術の循環など新しい循環をつくり出します。

Q. 園芸施設の管理運営に係



21 爽風会
梅津 善之

多くの方が関わり合い
支え合えるまちづくりを

答 弁

市街地再開発は市民ニーズ
を捉えた施設を構築



Q. 施政方針の中の「住みやすく住み続けたいなるまちづくり」では、都市機能の誘導と土地の合理的かつ健全な高度利用を図るため、長井駅前周辺地区における市街地再開発を進めるとしています。具体的には、都市計画道路長井駅海田線の街路事業と一体となったウォークアブルなまちづくりの推進を図るということですが、ぜひ民間主導で活性化と採算性を重視した検討をお願いしたいと考えますがいかがですか。

A. 市街地再開発は、住民や地権者等が組合等を設立し、その意思を民間事業者の資金やノウハウを活用し反映させる事業であり、市はエリアマネジメントの提案や補助金により支援します。市民や民間事業者等のニーズを的確に捉えた施設を構築することが採算性につながると考えています。

Q. 各地区コミセンの活動においては、地域課題を共有して、住民が主体的に取り組み共助の仕組みをどのように築いていくのですか。また、地域住民の意識の改革や、困りごとと皆で取り組める地域づくりが重要と考えますがいかがですか。

A. 各コミセンでは住民意見を反映した地域づくり計画の査定により、地域の強みや課題を整理しています。また、コミセン運営協議会の事務評価の過程で組織内での課題共有を図っています。きめ細やかな福祉や防災等の事業実践が住民主体の共助の仕組みであり、引き続き推進していきます。



豊田コミセン買い物支援事業



駅前通り (都市計画道路長井駅海田線)



政新長井
鈴木 一則

コミセン活動の地域の
担い手育成と支援策は

答 弁

担い手を確保し持続可能
な共助体制を構築



Q. 施政方針では、市が目指すコンパクトシティ・プラス・ネットワークの取り組みの基盤には、コミセンを核とした体制づくりが必要だとされています。各コミセンでは地域住民との協働による支援事業に取り組みられています。コミセン活動の充実には地域の担い手の確保が不可欠です。しかし現状は厳しく、担い手の育成と確保の支援策を伺います。

A. 各コミセンを地域生活拠点と位置づけ、法人化による組織強化や各種地域づくり事業推進のため積極的に支援しています。担い手確保についても、研修による住民参画意識醸成や、地区長や民生委員との連携強化等を図り、住民が自分事として参画できる共助の体制構築を支援します。

Q. 新年度事業に、東山の私有林の効果的な活用を検討が挙げられています。全国各地で私有林に整備されるメガソーラー等に、環境保全を目的に行政が規制や課税する事例が増えています。市として環境を守る規制等の考えを伺います。また、西山山麓や東山は市民に身近な里山ですが、私有林は荒廃が進んでいます。保全を目的に市民に開かれた活用を進めてはいかがですか。

Q: 高齢になれば誰でも不由に直面します。そのような時でも一定の安心感を持って過ごせるには、看護（介護）と移動と雪対策が必要です。看護については、本市は県内13市で唯一、訪問看護事業特別会計を設け、24時間対応など、市営ならではの運営がなされています。今後、高齢化のピークに向かい、一般会計から特別会計への繰出しが増えることや、看護師確保などの課題があるとしても、訪問看護事業特別会計による市営ステーションの維持は必要と考えますがいかがですか。

A: 一般会計から特別会計への繰出金は、安定した市民サービスを維持する上で必要なものと捉えていますので、引き続き経営努力を図りながら、寝たきりの方や医療処置の必要な方々が住み慣れた住宅で安心して療養生活を送ることができるよう、訪問看護事業を継続していきます。

Q: コミセンの移動支援を、住民が求める程度まで拡充するには、予算と運転手の確保など課題があります。しかし、それにコミセンだけで対応するのは限界があります。そのことに対し市は今後どのように関わっていく考えですか。

A: 高齢者移動支援事業は、現在3地区で実施し、他地区への横展開を検討しています。予算は市が地域未来交付金を活用し、運転手は地域有償ボランティア等が担っています。今後もコミセンと連携し、運輸局やタクシー業者等の整備も含め積極的に支援していきます。

高齡であっても安心して住めるまちのために

答 弁

地域や在宅で安心して生活できるよう取り組む



ともに長井
勝見英一朗



コミセン配置の移動支援車



市道花作平山線（通称法讀寺通り）

市道花作平山線、通称法讀寺通りの消雪化を

答 弁

優先順位もあり、除雪車による丁寧な除雪で対応



日本共産党
今泉 春江



Q: 市道花作平山線、通称法讀寺通りは、今冬も雪で車や歩行者、そして住民が大変苦労しました。この道路は区間150mで、アパートが3棟で26世帯、一般住宅15世帯の合計41世帯が道路に接しており、市民バスも通ります。しかし、道幅が狭く冬は側溝に落ちる車もあります。また、雪の捨て場がなく、大きな固い雪の塊の除雪は高齢者には大きな負担となっています。

2013年2月に消雪化を推進する会が、53名の署名を

A: 安全性が一番ですので、決して原発を容認するものではありませんが、再稼働を容認した地元自治体の意思は尊重されるべきだと思います。隣県である山形県に説明があったのか、県議会での対応はどうかなど、県同士で意見交換していくべきだと考えます。

Q: 柏崎刈羽原発6号機が不都合で時々停止します。一年中西風が吹いており、有事の際に市民を放射能から守るため、稼働に反対すべきです。

A: 安全性が一番ですので、決して原発を容認するものではありませんが、再稼働を容認した地元自治体の意思は尊重されるべきだと思います。隣県である山形県に説明があったのか、県議会での対応はどうかなど、県同士で意見交換していくべきだと考えます。

添え市長に消雪化を要請し、2017年12月に請願が議会で採択されました。市民の安全な暮らしのために消雪化を強く要請します。

A: 市道花作平山線の測量調査を実施しましたが、消雪化にはボーリングやポンプ、配管工事など、概算で1億1千万円ほどかかります。何とかご要望に応えるべく、補助事業等を組んでいきますが、優先順位もあり、少しお待ちいただきたいと思います。それまでは除雪車による丁寧な除雪で対応いたします。



公明党
鈴木 英則

ながいコインを一齐に
オンライン給付しては

答 弁

ポケットサインアプリでの
オンライン配布も検討



Q: 「ながいコイン」は、給付のたびに製作準備や郵送の手間が生じていますが、恒久的なカードをあらかじめ手配し、給付時にオンラインで一斉に給付できますか。給付は、物価高騰対策として令和5年から毎年行われており、オンライン給付で実績のある自治体もあることから、検討してはいかがでしょうかですか。

A: ながいコインも含めデジタル通貨は、一つ一つ異なるQRコード管理となり、恒久的なカードでの対応はできな

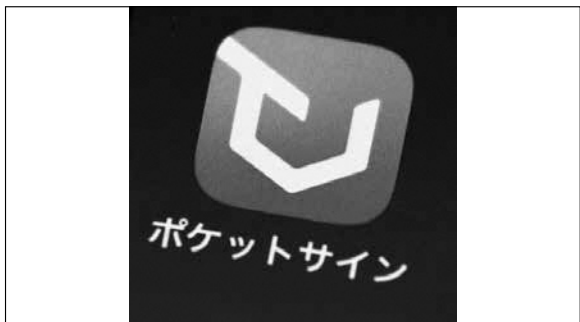
いのが現状です。今後、ポケットサインアプリを通じたオンライン配布も検討いたします。

Q: 白つじ公園の多目的広場となっている臨時駐車場は、要所に細いロープを張り、駐車しやすいよう配慮されていますが、さらに視認性の高いロープにするなど、より駐車しやすいようにできないか伺います。

A: 多目的広場を駐車場として使用いただく場合は、市では事前の申請により有料または減免にて許可していますが、ロープを張るなどの対応は行っていないので、ご理解とご協力をお願いいたします。

Q: あやめ公園の駐車場は、観光バスなどが優先的に近い駐車場を利用してはいますが、高齢者の一般来園者に配慮した駐車スペースを拡大できないですか。

A: 高齢者向けの優先駐車区画については、国のバリアフリー法、ガイドライン等に基づき、来園される方の利便性向上と利用ニーズに対応できるように検討していきます。



デジタル身分証アプリ「ポケットサイン」



オンライン交付 (イメージ)



渡部 正之

循環型経済構造の
可能性追求と進化を

答 弁

ながいコイン単体での
ポイント還元も検討



Q: 令和4年にデジタル地域通貨ながいコインを本格導入して以降、市民や観光客に市内限定の地域通貨として利用され、キャッシュレスの推進やデータの有効活用、地域内循環といった多面的な価値と可能性を持つツールであると感じています。令和6年7月からはデジタル身分証アプリ「ポケットサイン」の一部機能を活用したポイント付与事業がスタートし、健康増進事業と連携した取組も行われています。今後さらに事業連携な

どによる施策展開が進むことを期待しています。ながいコインの利用率向上や地域内経済循環を図る方策として、本市に本社がある加盟店へのインセンティブや、ポケットサインによるポイント還元などの施策が有効であり、地域経済の活性化につながるものと考えますがいかがですか。

A: 「ポケットサイン」アプリでのポイント還元については、一般の店舗で実施する場合、受付時の実施環境の構築等の店舗側の課題、利用者が決済時にマイナナンバーカードを読み取ってもらう煩わしさ等、様々な検討課題があります。ながいコインについては、NITカードソリューション社の「おまかせeマネー」というプラットフォームを利用しており、今年に入りポイント還元機能が追加されました。こうした機能の活用や、ながいコイン使用時のポイント還元に係る原資の在り方についての議論を含め、ながいコイン単体でのポイント還元を検討してまいります。

Q: 今後10年間を見据えたとき、複式学級になる学校も予想され、また、学級数が少なくなれば先生も減るなどの課題が考えられます。さらに、児童センターや保育園の園児数が減少していることも課題です。小規模校だからできる学校づくりや、小学校、学童保育など現在ある建物を有効活用し、地域が連携して子育てに関わっていく仕組みが大切だと考えますがいかがですか。

A: 「地域とともにある教育」を具現化してきた伊佐沢小学

人口減少における今後の小学校の在り方は

答 弁

地域の強みを生かした教育課程・生活拠点を構築



鈴木富美子



校の成果を基盤に、各地区の強みを生かした教育課程の構築を進めるとともに、子どもを真ん中にした公共施設等の地域生活拠点としての在り方について、今後も市長部局と教育委員会が一体となって議論を進めてまいります。

Q: 9月に開催予定のオペラ「ゼツキンゲンのトランペット吹き」の公演は、インクルーシブ社会の実現に向けた取組を国内外に発信することを開催の目的としています。それをどのように表現するのをお聞きます。

また、今回の一連の事業は、短期的なものではなく継続していく考えがあるのか伺います。

A: 姉妹都市であるドイツバート・ゼツキンゲン市を舞台とした当該オペラ公演については、プロのメインキャストの他、市民、県民が中心となった合唱団が出演し、どのような方も観客として楽しめるよう開催します。国の交付金も活用し、このような事業を今後も継続して実施いたします。



企業誘致が進む長井南産業団地



地域連携の子育て（イメージ）

Q: 製造業の企業が本市から無くなってしまうことはとても残念であり、ますます若者が離れてしまうのではと危惧します。若い人を選んでいただける新たな企業が必要ではないかと考えますが、これまで企業誘致に関してどのような取組をしてきたのですか。

A: パンフレットを作成し、県や金融機関、関係団体等へ情報提供を行ったほか、首都圏での様々なイベントに参加しPR活動を行ってきました。また、現在も県と連携して情

企業誘致に関するこれまでの取組は

答 弁

関係団体等への情報提供と首都圏に向けたPR活動



平井 直之



報発信しています。

Q: 他自治体でも企業誘致に力を入れており、これまで以上にトップセールスや東京事務所、ふるさと長井会等との連携が必要と考えます。また、一般企業だけでなく国の研究機関等を誘致することで、産業クラスターが形成され、地域の活性化につながると考えますがいかがですか。

A: ふるさと長井会会員や東京事務所とも連携し情報を得るなどにも参加しトップセールスに努めます。また、大学等と一緒に研究所をつくる可能性なども模索したいと考えます。

Q: 若者が定着し活躍できるまちにいくために、長井に住みたいと思える施策が必要と考えますが、今後の取組を伺います。

A: 働く場の確保が最重要です。既存企業のDX化の支援や、起業創業ワークショップなど、青少年の教育を継続し、長井に住みながらも世界を相手にできる人材育成が肝要と考えます。

一般質問



竹田 陽一

学校給食の食材費を市が負担するねらいは

本市が目指す学校給食は「子どもの健全な育成」

答 弁



Q: 子育て世帯の負担軽減のため、令和8年4月から全国一律に小学校の給食費無償化が始まり、国と県が基準額5200円を支援します。基準額を超える部分は、自治体の判断に委ねられています。本市を超える部分を負担するねらいは何ですか。

A: 大きくは、子育て世帯の経済的負担軽減ですが、本市が目指す学校給食は「安全安心で栄養バランスのとれたおいしい給食」と「食育の推進」「地産地消」であり、その実現に必

要な支援は進めていきます。

Q: 現代社会では、メンタルヘルズ不調は世代共通の課題です。市職員も、高度化・複雑化する事務事業や、頻発する災害などへの対応でストレスを感じていると思慮されます。質の高い行政サービスを提供するため、市職員が能力を最大限発揮できる環境をどう整えますか。

A: 日頃からコミュニケーションを図ることで職員の変化の気づきにつなげ、安全衛生委員会、産業医との連携やカスハラ対策などを通じて職員をサポートしてまいります。

Q: 気候変動で「ドカ雪」が増加する傾向にあります。雪下ろし中の転落事故を防止するため、命綱固定アンカー設置費や、転落防止器具購入への支援を拡大してはどうですか。

A: 住宅リフォーム補助制度により、県の定める要件工事等に基づきアンカー設置等費用を支援しています。県に制度拡大の声を届けるとともに、多くの方に制度を活用いただくるように周知に努めます。



栄養バランスのとれた学校給食

予算特別委員会

総括質疑

新年度に立ち上げるブランド戦略課の目的と体制は

勝見英一朗委員 本市の課題

である魅力創造に向けて、4月にブランド戦略課を立ち上げることをしています。その目的と体制はどうなりますか。

市長 ブランド戦略課は総務

部門に6名体制で設置し、ブランド戦略室と都市交流推進室を置きます。情報発信の強化や都市交流の活性化、市内産品の長井ブランドの価値付けに取り組み、ふるさと応援寄附金の増加にも結び付けます。

委員 地方自治体が標準的な市民サービスをを行うのに不足する財源を国費で補う仕組みとして地方交付税があります。その中の特別交付税は、平均的には6%ですが本市は20%と高く、事業拡大による負担増の懸念も生じます。そのことをどのように捉えていますか。

市長 特別交付税対象事業を活用することは、本市の財政負担の軽減につながり、積極的に獲得してきた結果、特別交付税が増えています。負担増に配慮しながら、対象事業の獲得に努めていきます。

人口減少と少子高齢化の中、今後の持続可能な地域づくりは

鈴木富美子委員 コミセンを

官民連携、分野横断で持続的に市民の生活を支える小さな拠点として機能強化を図るとしていますが、具体的にどのように考えていますか。

地域づくり推進課長 具体的には、一つは、日常生活を支える民間分野の横断の連携、また、関係者の連携の推進。二つ目は、日常時と非常時の境界を取り払った防災機能の強化。三つ目は、コミュニティ拠点機能の運営におけるDXの推進とし、この連携と防災とDXの三つを掲げています。3年間取り組むこととし、自立した地域づくり、コンパクトスマートシティ、コンパクトシティの取組を基盤に、市民の暮らしやすさの向上を目指し事業を進めていきます。

委員 6地区それぞれの特性があり、問題は多種多様だと思いますがどうですか。

地域づくり推進課長 毎月の館長会議や担当者会議で情報等を共有し、いろんな事例を横展開できるように進めていきます。

「地域みらい留学」の今後の課題は

平井直之委員 地域みらい留学は、長井に留学してもらう高校生を募集するという事業ですが、現在どのように取り組んでいるのか伺います。

地域づくり推進課長 この事業は、市内企業の人材として期待されている長井工業高校の入学生確保のため、市外、県外から入学志願者を募集する取組です。商工会議所を中心に、長井工業高校と長井市の三者が連携して県外生徒の受け入れ体制を進めてきたところですが。

委員 市外から留学生を受入れるには、宿泊先等様々な課題があると思います。今後の課題をどう捉えているのか伺います。

地域づくり推進課長 宿泊先の確保や食事の手配を商工会議所を中心に現在準備を進めています。また、留学生の病気の際のフォロー、日頃の相談など、人的な支援も大変重要になってくると考えています

ので、そのような役割を担っていただけ人材の育成も課題として捉えています。



地域みらい留学（イメージ）

財政硬直化が懸念されるが今後の財政運営は

鈴木裕委員 令和8年度予算では、歳入のうち市債が6億1660万円に抑えられ、歳出の公債費は19億4361万円と前年より1億1130万円増加し、市債の3倍となっています。財政硬直化が懸念されますが、今後どのように運営していきますか。

市長 昭和時代の様々な施設

の大規模改修、改築、新築等を数年かけて整備してきたことから、市債残高は増えてきましたが、今後は市債を抑え、残金を少しずつ減らし、実質公債費比率18%を超えない財政運営に取り組みます。

委員 公共施設等整備計画によると今後5年間で40億円の事業費が見込まれています。実質公債費比率18%未満に抑える対策を伺います。

財政課長 新規の地方債借入額を少なくし、既に借りている地方債を金利の低い地方債に借り換え、また、地方債の定期償還に加え繰上償還も行い、地方債残高を早く減らすことで実質公債費比率も低い数値になっていくと考えています。

学校給食費負担軽減事業（無償化）について

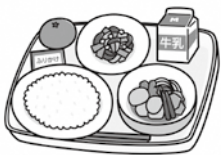
今泉春江委員 給食を実施している公立小学校に、児童一人当たり月5200円を国と都道府県が2分の1ずつ負担し、市町村に交付され、事実上給食費無償化が行われます。

これにより、子育て世帯の家計負担が軽減されます。物価高騰で基準額を上回る部分は保護者負担になりますか。

市長 現在行っているお米などの市独自の支援は今後も行っていくしますので、保護者の負担はありません。物価高騰が続く時は、国や県に支援拡大と継続を要請していきます。

委員 補聴器購入費補助金の予算が計上されました。現在支援をしている軟骨伝導集音器購入助成補助金もあり、高齢者の聞こえの支援が充実されます。助成金額と条件を伺います。

長寿介護・地域包括支援センター担当課長 補聴器購入の助成金額は、片耳につき1万円が限度額になります。65歳以上で、市民税非課税世帯、または、均等割りのみ課税世帯で、難聴による身体障害者手帳の交付対象でない者などの条件があります。



長井市議会からのお知らせ

議場で行われる本会議や特別委員会の傍聴は、当日朝に市役所3階の議会棟入り口で、住所、氏名等を受付簿に記入するだけで傍聴できます。（団体でお越しになる場合は事前に議会事務局にご連絡いただくスムーズに受付できます。）また、パソコンやスマートフォンでも議会中継をご覧いただくことができますので、ぜひご覧ください。

◎議会中継はこちらのQRコードから





県指定無形民俗文化財 伊佐沢念仏踊

次回 6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5月	11	12	13	14	15	16
10					全員協議会	
17	18	19	20	21	22	23
	総務	文教	産業・建設	厚生	常任委員長会	
	常任委員会協議会					
24	25	26	27	28	29	30
	招集告示			議会運営委員会		
31	6月 1	2	3	4	5	6
	本会議(開会) 予算特別委員会			本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 (一般質問)	総務	文教	厚生	産業・建設	
	常任委員会					
14	15	16	17	18	19	20
	予算	予算			本会議 (表決・閉会)	
	特別委員会					

◎請願の提出期限は、5月11日(月)の予定です。
◎すべての会議を傍聴できます。正式な日程は、市議会のホームページなどでご確認ください。



長井市議会ホームページ

長井市議会

検索

長井市議会に関する
市民アンケート結果を
公表しています

長井市議会では、市民の皆様から議会についての理解を深めていただき、また、参加していただける、開かれた議会を目指し、議会制度特別委員会を設置して様々な取組を進めています。

その一つとして議会への関心など、市民の皆様のご意見を今後の議会・議員活動に生かすため、「市民アンケート」を実施しました。

趣旨にご理解をいただき、調査にご協力いただきました皆様には、厚くお礼申し上げます。皆様からの貴重なご意見等は議会として真摯に受け止め、今後より一層市民に開かれた議会を目指し、努力してまいります。

結果はホームページから
ご覧ください⇒



ながい市議会だより編集特別委員会



◎渡部秀樹 ○渡部正之
鈴木悟司 竹田陽一
平井直之 鈴木英則
(◎委員長 ○副委員長)

新緑がまぶしい季節となりました。
3月定例会では、令和8年度予算をはじめ、各種事業計画が審議され、慎重かつ活発な議論が行われました。
今号では、新たな取組として、一般質問のページにQRコードを活用し、一般質問の録画映像に手軽にアクセスできるようにしました。議会の動きがより身近に感じられることを期待しています。
今後も市民の皆様が読みやすく親しみやすい「議会だより」を目指してまいります。
(M・W)

編集後記

この議会だよりは、議員の自主編集により発行しています。